

■ご挨拶

生き残って 15 年 —仕事は楽しく—

日本風力発電協会 理事 **安 茂**

ジャパン・リニューアブル・エナジー(株) 代表取締役 会長



はじめに

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（JRE）の安でございます。弊社はお陰様でこの8月で創業3年を迎えました。今回は私が風車に携わる様になったきっかけと、少しばかり会社の説明をさせていただきます。

風車と私

つい最近、ある会合で塚脇副代表理事が参加者を見渡して、「長年風車をやってきて生き残ってきた人間の集まり」と表現しました。私はそれを聞いて上手いことを言うなと感心しました。私が最初に風力発電にかかわったのは2000年ですから、もう15年になります。前職の鹿島建設には約30年間勤務し、最初の10年が国内の工事現場、次の10年がアメリカ駐在、最後の10年が風力発電という感じです。

1998年から2000年にかけて、日立製作所に出向し、インドの火力発電所の案件に携わっていました。出向が終了し鹿島に戻る時に、鹿島の役員が「安は火力発電をやっていたから、風力発電も分かるだろう」、という何とも分からない理由で風力発電に携わる事になり、2012年にJREを創業するために退職するまで、風力を生業として何とか生き残って来ました。

日立製作所に出向し、鹿島では全く本流では無い業務をやってきたことが、JREの創業につながるのですから、人生とは分からないものだと思っています。

社名について

実は会社の設立時に社名は決まっていませんでした。色々な方の知恵を借り、現在の名前に決まりました。カタカナの長い名前なので、いつも舌をかみそうになります。また、電話や地方の地権者さんへの説明でも苦労しています。JR東日本の窓口で領収書をもらう時、宛名をJREと伝えると、略称が同じなので変な顔をされる事もあります。次に会社を立ち上げる時は漢字4文字の名前にしようと思っています。

事業内容について

JREは良く資金だけ提供する会社と勘違いされます。我々の事業内容は風力、太陽光等の再生可能エネルギーの案件を発掘、開発、建設し、完成した発電所を保持、運営していく事です。また、これも良く聞かれるのですが、案件の切り売り等を行わず、会社全体の企業価値を高めていく事を目標としています。この事業は一種の資本ビジネスですので、会社の成長と共に資本金も増え、資本金と資本準備金合わせて192億円になりました。

最近の話題

6月30日に焼身自殺&火災の有った東海道新幹線に偶然乗り合わせていました。11時30分ごろ、新横浜を出てそろそろお弁当を食べようかなと思っていた時に、車内放送で「1号車火災、緊急停止します」との声が聞こえました。それから暫く走ってから停止。緊急停止という急ブレーキのイメージがありますが、急ブレーキも無く結構走ったなというのが印象でした。後日、新聞でトンネルを抜けるまで走行を続けたという記事を見てそうかと思いました。

我々は12号車だったので、緊迫感はそれほど無かったのですが、何が起きているのか分からないためスマホで情報を収集するという状況でした。亡くなった方や、病院に搬送された方が沢山いたという事は後で知りました。

指定席が前の方の車両だったら巻き込まれた可能性がありました。我々の車両は小田原止まりとなり、東京に戻りました。出張の目的は果たせず、京都で鱧を食べる事も出来ませんでした。無事でなによりだと思っています。

最後に

仕事は楽しくというのが私の主義です。そうでないと良い仕事を続けることは出来ないと考えています。弊社はまだまだ若く未熟ですが、風力発電普及拡大に向けて努力して参る所存ですので、社員ともども宜しく願い致します。